

	2021/2022シーズンワールドカップ等参戦基準	2021/2022シーズンジュニア世界選手権参戦基準
ジャンプ男子	別紙参照	U20強化指定選手及び国内指定選手で、全日本選手権NH、12月に国内で開催される第52回名寄ビヤシリジャンプ大会・第37回吉田杯ジャンプ大会・国内合宿記録会の総合結果を参考に選出する。 ☒
ジャンプ女子	<p>■FIS World Cup Nizhny Tagil/Lillehammer/Klingenthal/Ramsau/Ljubno/Willingen選考方法（派遣人数最大6名）</p> <p>① 北京オリンピックアロケーションリスト39位以内競技者</p> <p>② 第100回全日本スキー選手権ノーマルヒル大会優勝者（但しウィンド・ゲートファクターを使用した場合に限定する）</p> <p>■FIS World Cup 札幌大会第1戦選考方法（派遣人数最大12名）</p> <p>① 2021/22シーズンワールドカップ派遣競技者</p> <p>② 参加資格のある全ての競技者の中より第100回全日本スキー選手権ノーマルヒル大会、12月21日（火）・22日（水）名寄大会の結果をワールドカップポイントに換算した上位競技者（ポイントが同点の場合は最高順位が高い競技者を上位とする）</p> <p>■FIS World Cup 札幌大会第2戦選考方法（派遣人数最大6名）</p> <p>① 2021/22シーズンワールドカップスタンディング上位競技者</p> <p>② ワールドカップ札幌大会第1戦での競技結果上位競技者</p> <p>■FIS World Cup 蔵王大会第1戦選考方法（派遣人数最大12名）</p> <p>① ワールドカップ札幌大会派遣競技者</p> <p>■FIS World Cup 蔵王大会第2戦選考方法（派遣人数最大6名）</p> <p>① 2021/22シーズンワールドカップスタンディング上位競技者</p> <p>② ワールドカップ札幌大会及びワールドカップ蔵王大会競技結果の上位競技者</p> <p>■FIS World Cup Hinzenbach/RAW AIR/Oberhof/Blue Bird選考方法（派遣人数最大6名）</p> <p>① 2022年1月31日時点のワールドカップスタンディング上位5名の競技者</p> <p>② ノルディックジュニア世界選手権個人戦において上位の成績を取めた競技者の中より担当理事とヘッドコーチで派遣の可否を判断する。</p>	<p>■Zakopane選考方法（派遣人数4名）</p> <p>①第100回全日本スキー選手権大会NHと12月に開催される第52回名寄ビヤシリジャンプ大会・第37回吉田杯ジャンプ大会・国内記録会の総合結果を参考に選出する。 ※選考対象年齢は2002年～2006年生まれの競技者とし、全日本強化指定選手及び、国内指定選手でFISルールに則って選考する。</p>
コンバインド	<p>NC男子WC</p> <p>■1. WC第1ピリオド(第2次NCA選任) -派遣人数6名</p> <p>①2020/2021WCS55位以内</p> <p>■2. WC第2・第3ピリオド(第3次NCA選任) -派遣人数：クォータ数、またはクォータ数+α(クォータ数が5名に満たない場合最低5名を派遣する)</p> <p>①12/5時点のWRL55位以内、</p> <p>②COC第1PにおけるWCクォータ獲得選手(12/19決定)</p> <p>■3. WC第4ピリオド(第4次NCA選任) -派遣人数：クォータ数+α</p> <p>①WC3P終了時点(1/30)のWRL55位以内、</p> <p>②JWSC個人戦3位以内(WC Schonach大会のみ派遣)</p> <p>NC女子WC</p> <p>■1. WC第1・第2ピリオド(第1次NCW選任) -派遣人数：最大4名(1名は全額自己負担で参加する)</p> <p>①WC出場資格を獲得している選手</p> <p>②前シーズンのWC・COCの成績、9/19チーム内の成績も参考・考慮し、10/30、31の記録会もしくは、どちらか1記録会の順位で選考する</p> <p>■2. WC第4ピリオド (第2次NCW選任)</p> <p>①第2ピリオド終了時点のWCS上位2名</p> <p>②JWSCでメダルを獲得した選手</p>	<p>JWSC男子 -派遣人数：最大4名</p> <p>①COC第1ピリオド(第1次NCB選任)選考基準を突破し派遣された選手</p> <p>②名寄チャンピオン大会および全日本コンバインド大会の2大会ランキング・ゴール時のタイム差（JWSC権利のある選手）上位者。指定外選手は、名寄チャンピオン大会または全日本コンバインド大会の最上位選手（JWSC権利のある選手）を代表候補者とする。</p> <p>③上記の基準により強化スタッフが担当理事に推薦し、担当理事が承認した選手を派遣する</p> <p>JWSC女子 -派遣人数：最大3名</p> <p>①SAJNC強化指定選手、国内指定選手から選考する</p> <p>②WC第1、第2ピリオドで10位以内の成績を獲得した選手</p> <p>③名寄コンバインドチャンピオン競技会、全日本コンバインド大会で優勝した選手</p> <p>④③の2試合で上位入賞した選手</p> <p>⑤WC参戦基準（案）・第1、第2ピリオド②を参考にする</p> <p>※①>②…⑤と、数字の小さい基準を優先する</p>
クロスカントリー	<p>対象選手：ナショナルチームメンバー、国内強化A</p> <p>■Period1</p> <p>A.Uチーム</p> <p>*Uチームは年齢条件のないUチーム</p> <p>*リレハンメル/NOR ユニバーシヤード代表選手（女子選手3名/団体戦参加のため）</p> <p>* Ruka,Lillehammer大会:11/13,14のFISレース/FINにおいて、FISポイント男子60点、女子80点以下で、日本人トップの選手男女各1名</p> <p>■TourDe Ski:</p> <p>最大男女各2名①A.Uチーム</p> <p>■Olympic以降:</p> <p>①Uチーム②当該シーズンWCポイント獲得者③U26以下でFISポイント上位者/最新リスト参照</p>	<p>対象選手：FIS.SAI登録選手 人数：最大男女各4名</p> <p>①FEC上位2レースの合計FISポイント上位者男女各2名（音威子府、札幌）②FECレースより上位2レースの合計順位の上位者（音威子府、札幌）</p> <p>*ディスタンスレースが1レースの場合もしくは全くレースが開催されなかった場合はナショナルチーム（U、国内強化）より選考、当該シーズンのFISポイントリストNO.5獲得上位者とする。</p> <p>U23</p> <p>対象選手：ナショナルチームメンバー、国内強化A 人数：最大男女各2名</p> <p>当該シーズン獲得FISポイント上位者（ローラースキー除く）</p> <p>*1:大会が行われない場合ナショナルチーム（U、国内強化）より選考、当該シーズンのFISポイント上位者</p>
アルペン	別紙参照	<p>選考方法は、U21(2001年～2005年生まれの選手)より、以下基準1、2、3、4の順に適用し決定する。</p> <p>1、2021/2022 15th FISポイントリスト（2022年2月1日発表）のSL、GS、SG種目、いずれかにおいて男子200位、女子150位以内の選手。当該基準の適用により派遣人数の上限を超過する場合、上位者を優先とする。</p> <p>2、2021/2022 15th FISポイントリスト（2022年2月1日発表）のSL、GS、SG種目、いずれかにおいて男子250位、女子180位以内の選手。当該基準の適用により派遣人数の上限を超過する場合、上位者を優先とする。</p> <p>3、2021/2022 15th FISポイントリスト（2022年2月1日発表）のSL、GS、SG種目、いずれかにおいて年代別FISポイントリスト3位以内の選手。当該基準の適用により派遣人数の上限を超過する場合、上位者を優先とし、同順位選手が複数人となった場合は、各選手、同順位となった種目のFISポイントリストを参照し、上位者を優先とする。</p> <p>4、1、2、3の基準適用後、男女それぞれにおいて、派遣人数の上限に満たない場合に限り、2021/202215th FISポイントリスト（2022年2月1日発表）のSL、GS、SG種目、いずれかにおいて上位の選手を、男女別1名のみ選出する。</p> <p>※派遣人数の上限は、男子2名、女子2名とする。</p> <p>※出場種目は、強化スタッフの判断により決定する。</p> <p>※感染症拡大の影響により、選考基準における適切な選出が難しい状況となった場合、強化スタッフの判断により1、2、3のレベルに相当する選手を優先し、競技本部が承認した場合に限り、世界ジュニア選手権への出場を許可する。</p>

2021/2022 シーズンジャンプ遠征派遣選手選考基準

サマーシーズン

① GP Wisla

選考基準： 強化指定選手からクォータ数
GP/WC クォータ枠を確保するため

② GP Courchevel / COC Frenstat / COC Rasnov / FIS Cup Einsiedeln

選考基準： チーム 2026/30 強化、および GP/WC クォータ枠を確保するため

③ GP Schuschinsk / Chaikovsky

選考基準： チーム 2026/30 強化、および GP/WC クォータ枠を確保するため
1) ②で遠征している選手で GP Courchevel でポイントを取得した選手、または COC 大会で 10 位以内の成績を収めた選手
3) 1-4 名(最大クォータ数)を選考会で選出。

GP 大会前に選考会を開催して、コーチ会議で決定する。

選考会参加資格選手：SAJ の強化指定選手。また WC/GP の参加資格を有し、国内ランキング上位 6 位内の選手。(COC Lahti は選考会参加資格選手の中から GP 参加資格を有さない選手を優先して参戦権を与える。)

選考会の期日は、COC Lahti 遠征も考慮する。

④ GP Hinzenbach / Klingenthal

選考基準： WC ランキング上位選手クォータ数を派遣。
但し、クォータ枠確保を優先する必要がある場合は考慮する。

冬シーズン

① WC N.Tagil / Ruka / Wisla / Klingenthal / Engelberg

選考基準：

全日本選手権大会後、コーチ会議を実施。

－ 全日本選手権 LH 大会優勝者（ウィンド・ゲートファクターを使用した場合のみ適用）

－ 前シーズン WC ランキング上位からクォータ数

但し、クォータ枠確保を優先する必要がある場合は考慮する。

但し②の COC 大会で優勝した場合、その選手と①で遠征している選手の最下位の選手と次の週の WC で入れ替えを、また第 3 ペリオドで WC20 位以内の成績を納めなかった選手がいる場合、②で 3 位以内の成績を収めた上位選手 1 名と入れ替えを考慮する。

② COC Vikersund / Ruka / Engelberg

最大 3 名を派遣。

選考基準：

－ 全日本選手権 LH 大会で優勝した選手で WC 参加資格を持たない場合。

－ ①で選出した選手以外の前シーズン WC ランキング上位 1 名

－ ①で選出した選手、および上記で選考した選手以外から GP ランキング上位選手（1-3 名）、該当選手がいない場合は夏の COC 大会のランキングも考慮する。

但し②の COC 大会で優勝した場合、その選手と①で遠征している選手の最下位の選手と次の週の WC で入れ替えを、また第 3 ペリオドで WC20 位以内の成績を納めなかった選手がいる場合、②で 3 位以内の成績を収めた上位選手 1 名と入れ替えを考慮する。

③ WC Oberstdorf – Zakopane

選考基準：

WC ランキング上位からクォータ数。

但し②の COC 大会で優勝した場合、その選手と①で遠征している選手の最下位の選手と次の週の WC で入れ替えを、また第 3 ペリオドで WC20 位以内の成績を納めなかった選手がいる場合、②で 3 位以内の成績を収めた上位選手 1 名と入れ替えを考慮する。

④ COC Sapporo

札幌 COC

国内にいる SAJ 強化コーチを選考の責任者とする。

選考基準： COC 前に選考会を実施し、クォータ数の選手を選出
SAJ 強化指定基準の S、A、U 該当選手は選考会免除

選考会参加資格： 冬シーズンに開催された国内大会の優勝者
過去 2 年間に GP/WC/COC/FIS Cup ポイントを取得した選手
但し FIS Cup に関しては昨シーズンと現シーズンにポイントを取得した選手
に限る。

実施方法と日時： COC 札幌大会前の国内 LH 大会を選考対象の試合とする。
日時は全日本選手権大会後のコーチ会議で決定する。

⑤ WC Sapporo W 杯スタンディング上位の選手。
上の選手以外は COC 札幌大会での成績を元にヘッドコーチ、SAJ 強化コーチが決め、Division1 担当理事の承認を得る。

⑥ WC Willingen / OWG Beijing

選考基準： OWG に選考された選手

⑦ COC Rena / WC Lahti / COC Lahti

選考基準： WC 札幌大会後のコーチ会議で 3 名選出
⑥で選考された選手以外の WC 上位 2-3 名
但し、チーム 2026/30 の強化も考慮する

⑧ WC Lillehammer / Oslo / SFWCS Vikersund / SF Oberstdorf / SF Planica

選考基準： WC 札幌大会後、また WC Lahti 終了後コーチ会議で選出
⑥で選考された選手。クォータ数が 6 の場合は WC Lahti にて、⑦の選手か
ら 1 名を選出する。

* WC/COC 遠征中に思うような結果が得られない選手がいる場合、また負傷した選手がいる場合、Division1 担当理事の承認を得て、選手の入れ替えを行うこととする。